

2026年 新年あけましておめでとうございます

軍拡一辺倒・医療費大幅削減を許さず 希望を開く年に！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



昨年は、1年を通して、「新医療センター構想」をめくり大きく議論された年となり、また、クマの出没が相次ぎ奥州市で2名が襲われる事態となり、まさに「災害」に発展しました。各市立医療施設は、すでに機能が異なり地域に必要な施設となっており、「新医療センター」の早期建設が必要です。クマの出没で、一刻も早く「緊急銃猟」が行える体制と、「駆除」できるよう整備し、クマの通り道となっている河川の整備など、寄せ付けない環境つくりのため頑張ります。物価高騰による学校給食費の引き上げについて、倉成市長、高橋教育長に、引き上げないよう申し入れ、市民の協力を得て引き上げをしないよう求める署名も提出し、の保護者負担をあげさせないできました。特別養護老人ホームも60床2施設の整備に向け準備が進み、ジェンダー平等、猛暑対策など多くの問題を取り上げ、少しずつ前に進んでいます。国への意見書では「消費税減税」「インボイス廃止」「訪問介護報酬引き上げ」「最賃引き上げ」に伴う中小企業支援を求める「意見書など他党派の議員の協力を得て採択し国に送ることができました。市議会議員選挙が迫りました。引き続き皆さんの要求実現のため、軍拡一辺倒、社会保障費大幅削減を進める政治を転換するため全力を尽くします。今年もよろしくお願いいたします。

日本共産党奥州市委員会
委員長 千田美津子
市議会議員 今野裕文
菅原明
千葉敦
瀬川貞清
佐藤美雪

参議院議員 いわぶち友



くらしと福祉を壊し、大軍拡を進める高市政権。危険な暴走を許さない運動が広がっています。くらしと平和を守ろう、一人ひとりが大切にされる社会を一人ひとりがみなさんと力を合わせて、希望を切り開く年にするために奮闘します。

東日本大震災津波と東京電力福島第一原発事故から15年です。その後も災害が相次ぐもと、被災者の生活と生業の再建、原発ゼロ実現のために大いに力を尽くします。来たるべき総選挙で高橋ちづ子さんの議席奪還へ、強く大きな党をつくるため、日本共産党の魅力を広げていきます。本年もよろしくお願いいたします。

前衆議院議員 高橋ちづ子



昨年は大雪、山火事、豪雨、猛暑、熊、地震と、災害に見舞われた1年でした。高市総理は、総理の地位ほしさに維新と政権合意を結び、定数削減や社会保障削減を約束。物価高騰対策は遅すぎて少なすぎます。今こそ、消費

12月議会 一般質問 続報

写真…11月17日クマ対策について市長へ申し入れ

昨年12月議会で、市内でも2名の負傷者を出したクマの出没にかかわる対策について質しました。その概要を紹介いたします。

クマの「捕獲」から「駆除」に 改めるべきでないか？

今野裕文議員は、クマの出没情報が1日10件を超える状況が発生しており、市民の安全を守る対策について質しました。

①クマが出没した際、周辺住民にその情報が十分に伝わっていないとして、体制の強化を求めました。

②クマの頭数を管理すべきだとして、「捕獲」（捕獲後山に



今野裕文 議員

税減税です。高市総理は憲法改「正」を公然と表明し、「ミサイルはまだ足りない」と大軍拡を進めています。

その時々、議席を失った悔しさを思うとともに、議員じゃないからこそ思い切ったこと

もありました。議員、後援会の皆さんと力あわせ地域の課題解決に全力を尽くすとともに、次こそはと決意を強めています。

離す)のではなく「駆除」(屠殺)に改めることを求めました。

岩手県の「管理計画」の見直しを求めていく

倉成淳市長はそれぞれ次のように答えました。

①従前から本庁・総合支所の担当部署にて24時間体制で対応する仕組みとしているが、運用の再徹底をはかりたい。

②クマの捕獲等は、岩手県のツキノワグマの管理計画に基づき実施しており、捕獲後は、原則放獣が基本で、やむを得ない場合の捕殺を行うこととされており、県に改善を求めていく。

③国や県の財政支援を得ながら取り組むべきと考えている。広大な面積を要しており課題があるが、全庁挙げて取り組んでいく。

